



2017年12月期

決算説明会



2018年2月19日

SBSホールディングス株式会社



も く じ

- **2017年12月期決算概要
及び2018年12月期見通し**

- **2018年度グループ経営**

2017年12月期決算概要 及び2018年12月期見通し

SBSホールディングス株式会社
執行役員財務部長 遠藤 隆

■ 連結業績(対前期比較)

2

(単位:百万円)

	16年度通期		17年度通期			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率
売上高	149,054	100%	152,870	100%	3,815	2.6%
営業利益	7,514	5.0%	6,229	4.1%	△1,285	△17.1%
経常利益	7,832	5.3%	6,475	4.2%	△1,357	△17.3%
当期純利益	5,111	3.4%	4,446	2.9%	△665	△13.0%

連結業績(対計画比較)

3

(単位:百万円)

	17年度通期					
	予想値	構成比	実績値	構成比	差異額	達成率
売上高	150,000	100%	152,870	100%	2,870	101.9%
営業利益	5,500	3.7%	6,229	4.1%	729	113.3%
経常利益	5,800	3.9%	6,475	4.2%	675	111.6%
当期純利益	4,000	2.7%	4,446	2.9%	446	111.2%

※予想値は2017年11月10日に発表したものです。

セグメント別業績(対前期比較)

4

(単位:百万円)

セグメント累計		16年度通期 実績値	17年度通期		
			実績値	増減額	増減率
物 流	売上高	132,487	140,422	7,934	6.0%
	営業利益 利益率	2,266 1.7%	2,692 1.9%	426	18.8%
不 動 産	売上高	10,278	5,745	△4,533	△44.1%
	営業利益 利益率	5,108 49.7%	3,278 57.1%	△1,830	△35.8%
そ の 他	売上高	6,288	6,703	414	6.6%
	営業利益 利益率	321 5.1%	413 6.2%	91	28.6%

※上記各セグメント営業利益の合計額に連結消去等の調整をした結果が損益計算書の営業利益となります。

※2016年の調整額は△182百万円、2017年の調整額は△154百万円です。

不動産事業業績(対前期比較)

5

(単位:百万円)

不動産事業	16年度通期		17年度通期		増減額
		構成比		構成比	
売上高 前期比	10,278	100%	5,745	100%	△4,533
	18.9%		△44.1%		
	賃貸事業	2,708	26%	2,682	47%
開発事業	7,570	74%	3,063	53%	△4,506
営業利益 前期比	5,108	100%	3,278	100%	△1,830
	55.2%		△35.8%		
	賃貸事業	1,447	28%	1,626	50%
開発事業	3,661	72%	1,651	50%	△2,009

※賃貸事業:保有する物流施設、オフィスビル、レジデンス等を賃貸する事業。

※開発事業:開発した物流施設をファンドや機関投資家に売却(流動化)する事業。

■ その他事業業績(対前期比較)

6

(単位:百万円)

その他	16年度通期		17年度通期		増減額
		構成比		構成比	
売上高	6,288	100%	6,703	100%	414
太陽光	417	7%	458	7%	41
マーケティング	1,224	19%	1,543	23%	318
人材	3,845	61%	3,881	58%	36
営業利益	321	100%	413	100%	91
太陽光	106	33%	155	38%	48
マーケティング	73	23%	90	22%	17
人材	128	40%	141	34%	12

※上の分類は主要項目であり、環境等の売上高、営業利益は影響額が小さいため記載を除いています。

セグメント別業績(参考)

(単位:百万円)

セグメント		16年度通期 実績値	17年度通期		
			実績値	増減額	増減率
物 流	売上高	132,487	140,422	7,934	6.0%
	調整前 営業利益 利益率	3,810 2.9%	4,215 3.0%	405	10.6%
不 動 産	売上高	10,278	5,745	△4,533	△44.1%
	調整前 営業利益 利益率	5,201 50.6%	3,362 58.5%	△1,838	△35.4%
そ の 他	売上高	6,288	6,703	414	6.6%
	調整前 営業利益 利益率	400 6.4%	491 7.3%	91	22.9%

※上記各セグメント営業利益の合計額に連結消去等の調整をした結果が損益計算書の営業利益となります。

不動産開発を除く業績(参考)

8

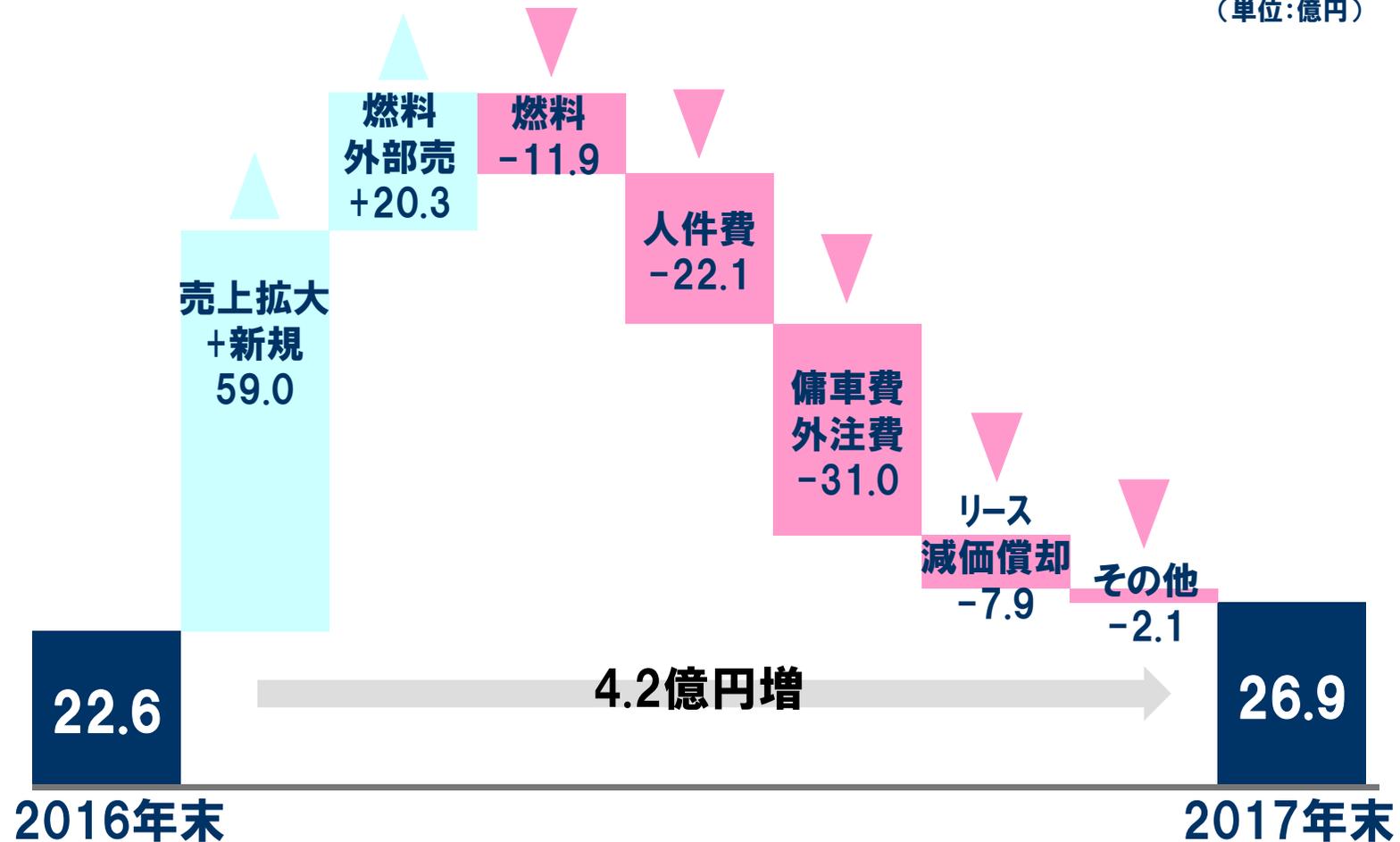
(単位:百万円)

累計	16年度通期		17年度通期			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	増減率
総売上高	149,054	100%	152,870	100%	3,815	2.6%
不動産開発	7,570	5%	3,063	2%	△4,506	△59.5%
売上高 (不動産開発除く)	141,484	95%	149,807	98%	8,322	5.9%
総営業利益	7,514	5.0%	6,229	4.1%	△1,285	△17.1%
不動産開発	3,661	2.5%	1,651	1.1%	△2,009	△54.9%
営業利益 (不動産開発除く)	3,852	2.6%	4,577	3.0%	724	18.8%

物流・営業利益の前期比増減要因

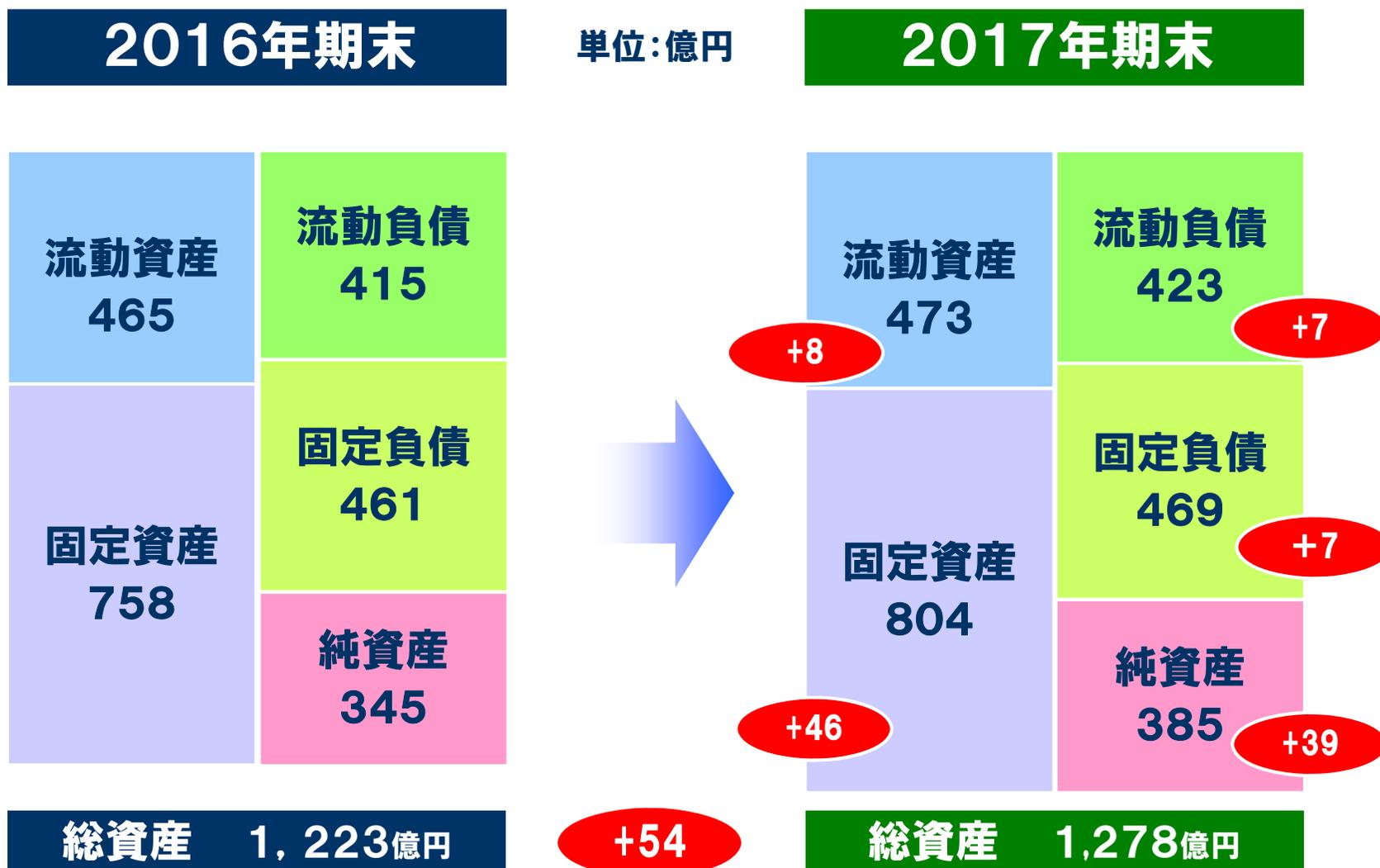
9

(単位:億円)

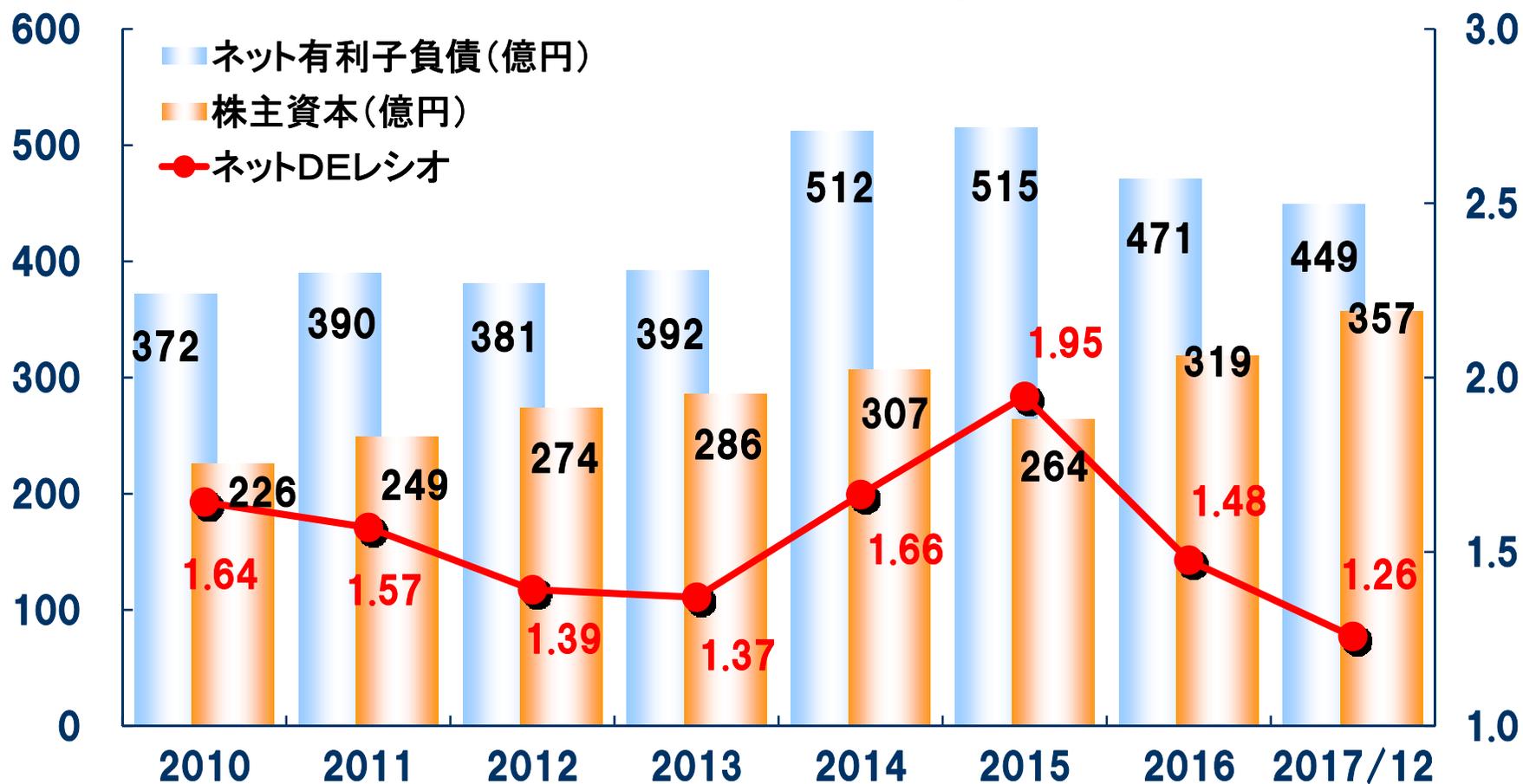


■ 連結貸借対照表の推移

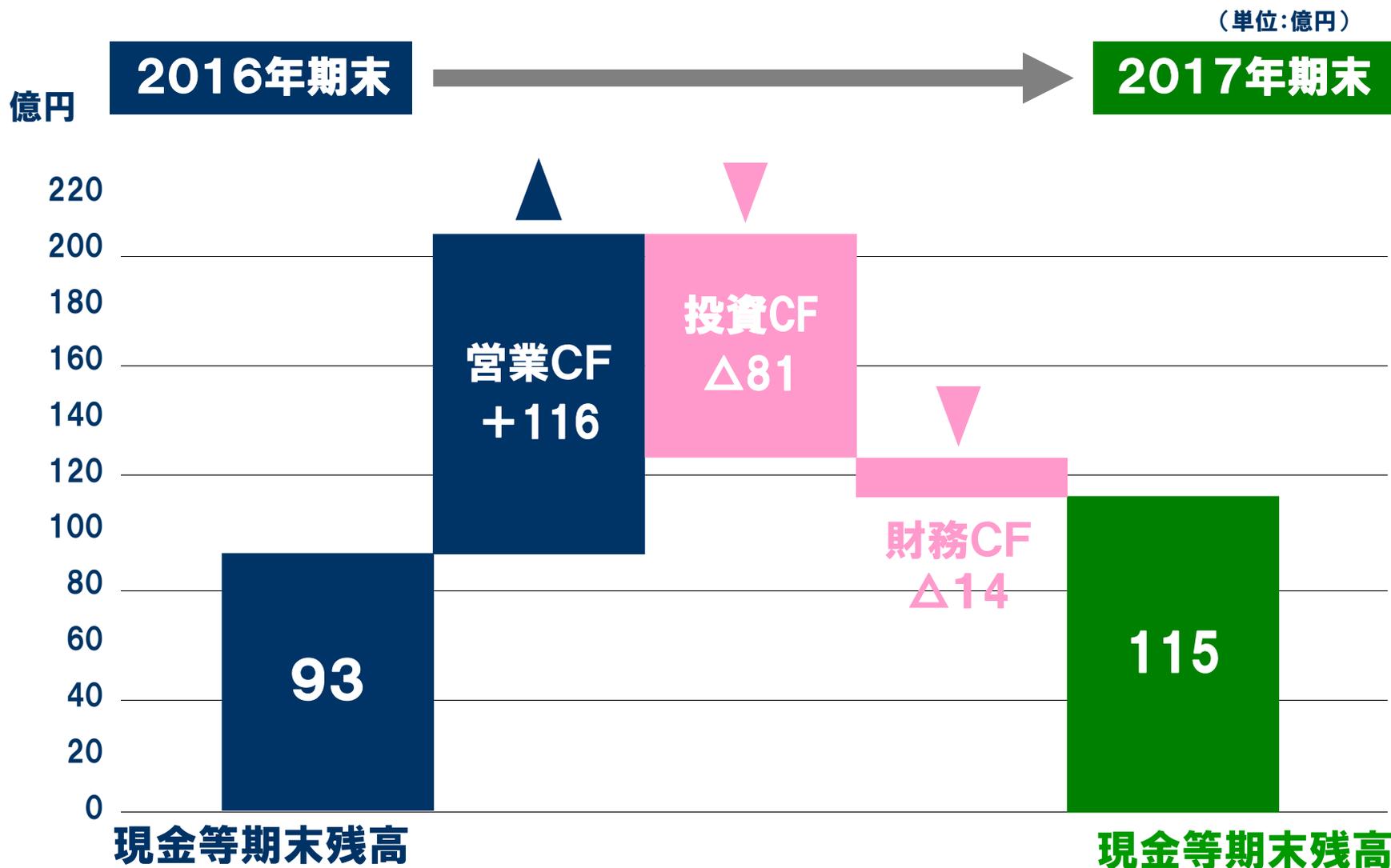
10



ネットDEレシオの推移



■ 連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

	17年度		18年度			
	実績値	構成比	予想値	構成比	増減額	増減率
売上高	152,870	100%	160,000	100%	7,129	4.7%
営業利益	6,229	4.1%	7,000	4.4%	770	12.4%
経常利益	6,475	4.2%	7,200	4.5%	724	11.2%
当期純利益	4,446	2.9%	4,400	2.8%	△46	△1.0%

セグメント別業績予想

14

(単位:百万円)

セグメント		17年度通期 実績値	18年度通期		
			予想値	増減額	増減率
物 流	売上高	140,422	145,500	5,078	3.6%
	営業利益 利益率	2,692 1.9%	3,250 2.2%	558	20.7%
不 動 産	売上高	5,745	7,500	1,755	30.5%
	営業利益 利益率	3,278 57.1%	3,450 46.0%	172	5.2%
そ の 他	売上高	6,703	7,000	297	4.4%
	営業利益 利益率	413 6.2%	500 7.1%	87	21.1%

※上記各セグメント営業利益の合計額に連結消去等の調整をした結果が損益計算書の営業利益となります。

※不動産の売上高、営業利益には物流施設の流動化金額を含みます。

※2017年の調整額は△154百万円、2018年の調整見込額は△200百万円です。

※予想値は2018年2月13日に発表したものです。

■ 2018年12月期 期末配当(予定)

- 基準日 : 2018年12月31日
- 1株当たりの配当金 : 21円

- **ご参考**

2017年12月期 期末配当実績

1株当たりの配当金 : 21円

(普通配当17円、増配1円、創業30周年記念配当3円)



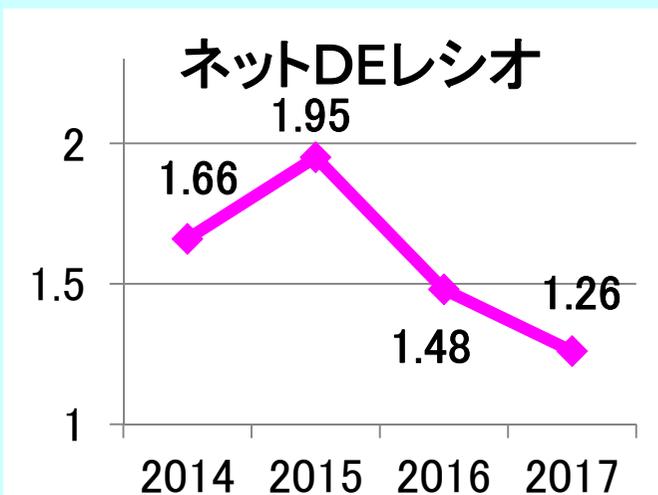
【× 円】

2018年度グループ経営

SBSホールディングス株式会社

代表取締役社長 鎌田 正彦

財務指標の回復



市場の信頼回復

● 配当

➤ 期末 → 21円 (*1)

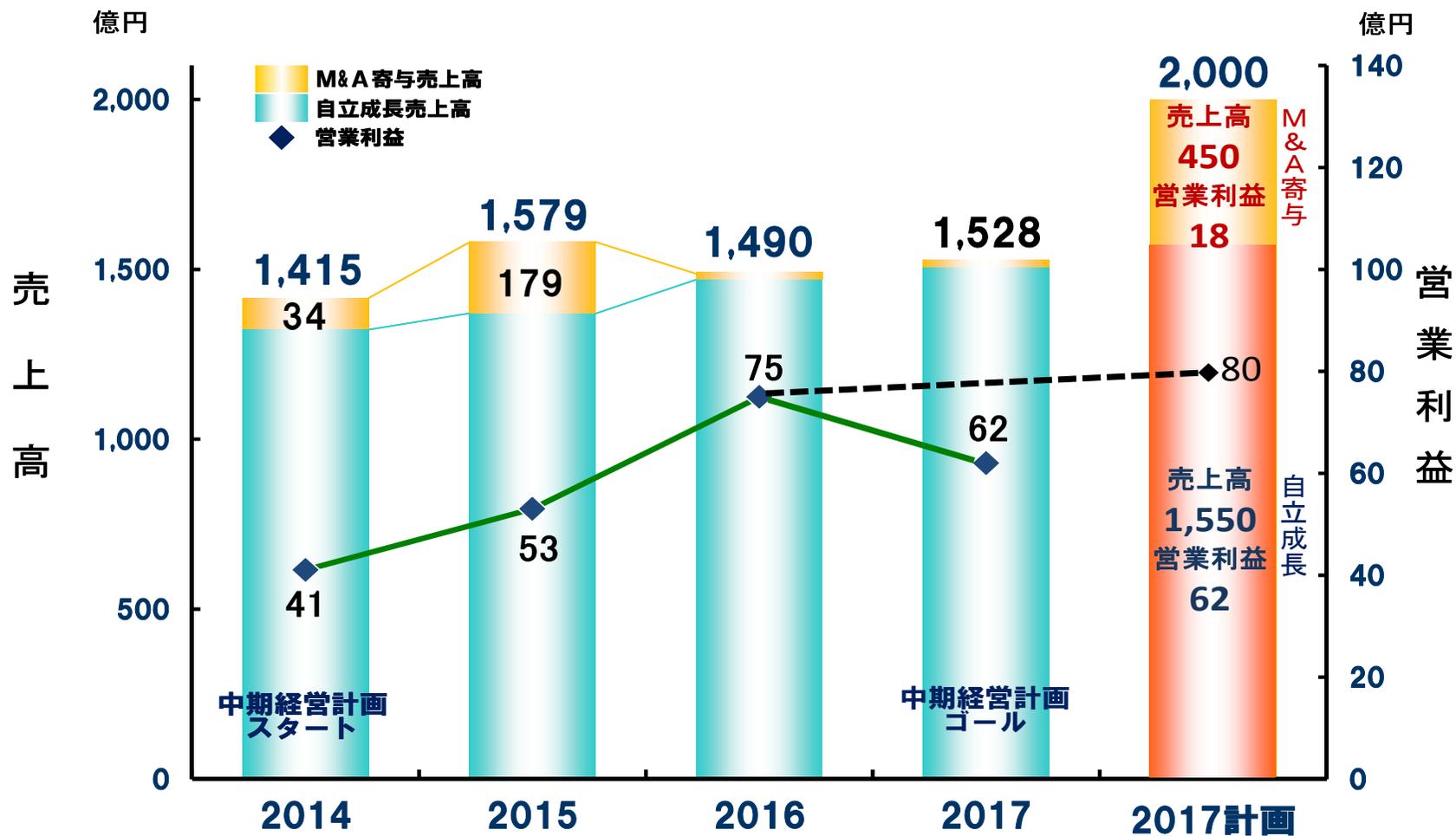
*1 増配1円、創業30周年記念配当3円含む

● 決算値の確実な達成

	計画 (*2) ⇒	実績
➤ 売上高	1,500億	⇒ 1,528億
➤ 営業利益	55億	⇒ 62億
➤ 経常利益	58億	⇒ 64億
➤ 当期利益	40億	⇒ 44億

*2 平成29年11月10日公表

■ 中期経営計画(SBS Growth 2017)



■ 物流事業

- WEBを通じた新規ビジネスの引合・成約増加
- IGOQ(イゴーク)シェアリング・プラットフォーム始動
- WEBを使った人材採用加速
- 適正価格実現化へ交渉継続

■ 不動産事業 (不動産事業(1)参照)

- 開発
- 流動化

■ その他事業

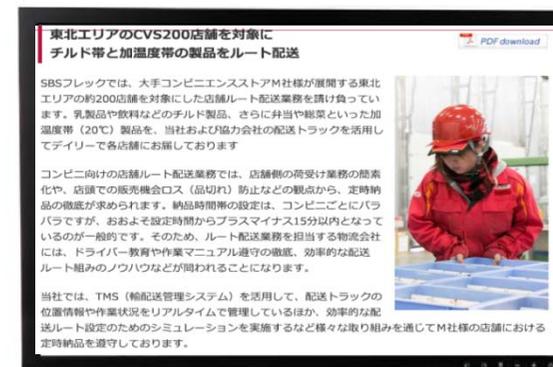
- 人材派遣が堅調・マーケティングが拡大

■ 主な新規・拡大実績

- アパレル
- プロ専用の会員制総合建材
- 輸入食品・食品卸
- ペットフード
- CS向け三温度帯物流
- 福祉用具
- EC通販(B to C)
(470台規模、配送エリア拡大)



(HPにて案件紹介中)



■ 大阪南港営業所開所

- 新規ビジネス提案 好調に推移

■ 3PL拡大状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018計画
売上高(国内物流)	1,254	1,317	1,398	1,447
うち3PL売上高	512	547	588	610
前期増減率	5.6%	6.8%	7.6%	3.7%
売上高構成比	40.8%	41.5%	42.1%	42.2%

IT、WEBを介した活動

- iGOQ機能拡充中
- 人財の採用
(ドライバー、構内作業者)
 - WEB動画での訴求
 - 弾力的な雇用形態の導入
個人に合わせた勤務時間・勤務形態
 - 定年後の就職先として
 - 子育ての空き時間に
 - 個人事業主の選択も
- グループ各社事例紹介



■ 開発(建築中)

- 阿見物流センター(三温度帯)
2018年4月竣工予定
- 大阪南港物流センター
2019年1月竣工予定



■ 流動化

- 埼玉県吉川物流センター(7月)
- 長野県千曲物流センター(12月)



■ 野田市瀬戸センター(仮称)プロジェクト

- SBSグループ最大の先端倉庫2棟を建設
物流企業が推進する最新倉庫建築の超大型プロジェクト
自動化・ロボット物流などの実験拠点
- 立地
 - 常磐道柏インター近接
- 完成予定
 - (第1棟) 2020年秋
 - (第2棟) 2022年



投資

所沢物流センター
仙台センター
大阪南港
野田PJ
茨城阿見
長津田物流センター
新杉田物流センター
横浜
金沢

.....2015.....2016.....2017.....2018.....

回収

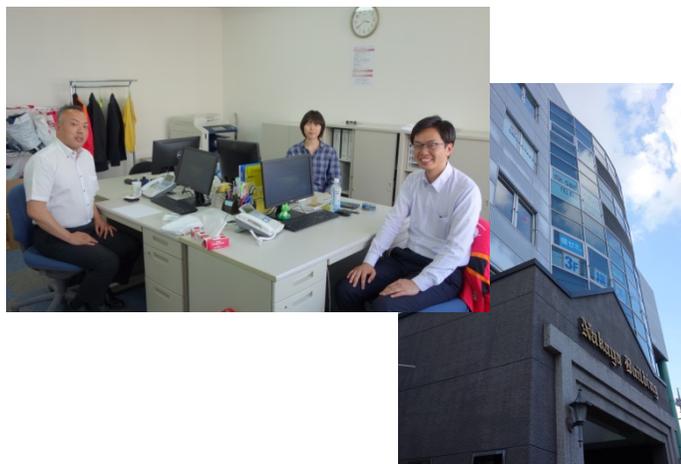
所沢倉庫
川越物流センター
吉川物流センター
西日本ロジセンター
野田吉春物流センター
千曲物流センター

■ 人材事業

● 2017年度2か所の営業所を増設(営業所19か所に)

- 機会損失の軽減、空白地帯の人材確保
- 差別化
 - 送迎車完備(橋本1台、新鎌ヶ谷2台)求職者のニーズに対応
 - 当日分を当日振込(他社は現金での手渡し例も多数)

橋本



新鎌ヶ谷



■ マーケティング事業

- ECのフルフィルメントサービス



- EC通販のプレミアムペットフード
 - 新商品の投入 売上拡大

■ 事業内容

1. 物流の振興・発展に資する学術研究に対する助成
2. 物流の振興・発展に資する研究集会、シンポジウム、セミナー等の開催に対する助成
3. 学生・生徒に対する奨学金の給付
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

● 物流助成研究

- (2017年実績) 7件
- (2016年実績) 6件

● 奨学支援金制度

- 第一回公募中



SBS GROUP

For Your Dreams.